

## Ⅳ. 周産期情報の収集と分析に関する研究

### 分担研究報告書

九州大学医学部産婦人科

中 野 仁 雄

本研究班では、前年度に引きつづき、本班の研究課題である「周産期医療情報の収集と分析」に関して、応用の場面で生ずる諸々の問題点の抽出を主眼として検討を加えた。その結果、医療情報のEDP化( Electronic data processing)の手続きには、大別すれば以下に掲げる各事象が存在することが分った。

#### 1. 原データの形態的な特徴の分析と医療情報の収集

医療情報は、離散量から連続量まで、また、言語から尺度化された情報まで種々の形態的な特徴を有するため、どのような情報をどのような形態でコンピュータリゼーションを計るか、予め検討しておくことが必要である。

医療情報には、例えば問診などによって得られる static な特性のものと、呼吸曲線のように時々刻々と変化してゆく dynamic なものが含まれている。しかも、これらの情報は各症例毎に混在した形で収集される性格のものである。したがって、医療情報の収集に際して留意すべきは、情報の時間的な位相と空間的な次元を症例内で、あるいは症例間で如何に適合させるかが重要な課題となる。

#### 2. コンピュータ・ファイリングと処理および医療情報網の構築

以上の手順を踏んだ後に、コンピュータ・システムへの情報のファイリングを試みる段階になるが、ここでの問題点は、ひとつは、将来の処理や加工を想定した上でのファイルおよびシステム設計に対する思想性であり、いまひとつは日常臨床のなかでコンピュータ・システムが定着し、有効な利用を達成するために不可欠の要件である Man-Machine-interface の工夫に対する配慮である。

また、以上の研究成果のさらに大きな応用面として、全国規模の広域周産期医療情報網の確立も検討に価する課題である。

以上述べた各々の課題について、各研究協力者が各々に役割を分担して研究をすすめた(図1)。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



周産期情報の収集と分析に関する研究

分担研究報告書

九州大学医学部産婦人科

中野仁雄

本研究班では、前年度に引きつづき、本班の研究課題である「周産期医療情報の収集と分析」に関して、応用の場面で生ずる諸々の問題点の抽出を主眼として検討を加えた。その結果、医療情報のEDP化(Electronic data processing)の手続きには、大別すれば以下に掲げる各事象が存在することが分った。

### 1. 原データの形態的な特徴の分析と医療情報の収集

医療情報は、離散量から連続量まで、また、言語から尺度化された情報まで種々の形態的な特徴を有するため、どのような情報をどのような形態でコンピュータリゼーションを計るか、予め検討しておくことが必要である。

医療情報には、例えば問診などによって得られる Static な特性のものと、呼吸曲線のように時々刻々と変化してゆく dynamic なもののが含まれている。しかも、これらの情報は各症例毎に混在した形で収集される性格のものである。したがって、医療情報の収集に際して留意すべきは、情報の時間的な位相と空間的な次元を症例内で、あるいは症例間で如何に適合させるかが重要な課題となる。

### 2. コンピュータ・ファイリングと処理および医療情報網の構築

以上の手順を踏んだ後に、コンピュータ・システムへの情報のファイリングを試みる段階になるが、ここでの問題点は、ひとは、将来の処理や加工を想定した上でのファイルおよびシステム設計に対する思想性であり、いまひとつは日常臨床のなかでコンピュータ・システムが定着し、有効な利用を達成するために不可欠の要件である Man - Machine - interface の工夫に対する配慮である。

また、以上の研究成果のさらに大きな応用面として、全国規模の広域周産期医療情報網の確立も検討に価する課題である。

以上述べた各々の課題について、各研究協力者が各々に役割を分担して研究をすすめた(図1)。